

## 目標達成計画

作成日：平成 29年 2月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の構成員である民生委員の出席の可否について民生委員個人の考え方が違い、今後民生委員の出席が望めない場合が生じる。(現民生委員が11月で任期切れとなる)	行政にアドバイスを頂き、開催日は構成員が揃い、地域の状況やグループホームへの意見など聞くことができる。	①ご家族への参加依頼はもとより、地域の方には個別訪問で参加をお願いします。	12ヶ月
				②意見や助言について、その後の取り組みなど報告を必ず行なう。	8ヶ月
2	35	避難訓練や防災研修など近隣に案内を行うが参加住民が同じで、案内範囲を考慮する必要がある。 土砂災害危険区域になっているので、個別に訪問範囲を広げていくが高齢者世帯が多い。	グループホームまわりの30世帯に声を掛け、危機感を共有し、災害発生時にスムーズな連携ができる。	①危険区域内の世帯を個別訪問し、避難訓練などの参加を呼びかける。(訪問することにより、顔馴染みとなる。)	12ヶ月
3	26	介護計画書が変更になった場合において、全職員が共有できているか確認がとれていない。口頭での伝達では不十分である。	全職員が把握するとともに、計画に沿った記録作成を行う。	①介護計画書の内容に変更があるときは、毎朝の送り時に口頭で伝達を行うと共に、送りノートにも記録して確認署名を行なう。	3ヶ月
4	45	入浴について、15名中2名ほど拒否や体調不良の訴えなどで、一週間程入浴できていない時があった。	個々に応じた対応を話し合い、その日の状態を把握し、清潔保持に努める。	①拒否が強い場合は対応職員を交代するなど工夫をしていく。 ②助言を頂いた翌日より取り組み、現在は改善されている。	達成済み

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。